

製品名: eIF1AY ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10363**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:20000-1:40000

分子量

抗原情報

遺伝子名	EIF1AY
別名	EIF1AY; Eukaryotic translation initiation factor 1A; Y-chromosomal; eIF-1A Y isoform; Eukaryotic translation initiation factor 4C; eIF-4C
遺伝子 ID	9086.0
SwissProt ID	O14602
免疫原	抗血清はヒト EIF1AY 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 21-70

背景

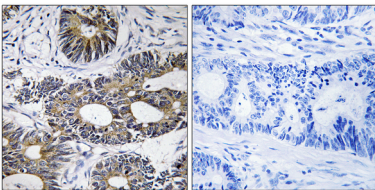
この遺伝子は Y 染色体の非組換え領域に位置し、真核生物翻訳開始因子 1A (EIF1A) に関連するタンパク質をコードしており、この

タンパク質は、開始因子 Met-tRNA の 40S リボソームサブユニットへの結合を安定化させる機能を持つと考えられる。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じる。[RefSeq 提供、2013 年 7 月],機能: タンパク質生成の最大速度に必要と思われる。リボソームのサブユニットへの解離を促進し、開始因子 Met-tRNA(l)の 40S リボソームサブユニットへの結合を安定化する。類似性: eIF-1A ファミリーに属する。類似性: S1 様ドメインを 1 つ含む。組織特異性: 普遍的。,

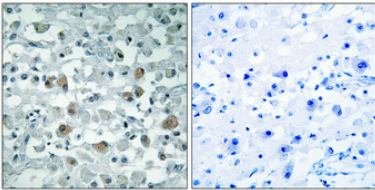
研究分野

-

画像データ



EIF1AY 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4℃、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。